



あたまイキイキ音読教室

鳥取県 北栄町図書館

基本データ

所在地 鳥取県東伯郡北栄町
由良宿 803-1
職員数 6人
うち司書数 5人
蔵書数 135,308冊
利用登録者数 13,454人
年間貸出冊数 85,194冊
(児童用図書貸出数 34,838冊)
※本館・分室の合計
※蔵書数・貸出冊数は2019年10
月31日現在、AVを含む冊数

テーマ・活動のねらい等

【テーマ】様々な利用者へのサービスの充実

【活動のねらい】

- 暮らしに役立つ図書館づくりを目指して実施。
- 絵本や物語、本を読むことは、生涯を通じて楽しむことができることを知っていただく場所として、また取り組み学ぶことで持てる力を高め、幸せで、充実した人生を創造していただけることを願い実践。
- 「今こそ絵本を！」事業は、絵本は子どもから大人まで誰でも気軽に楽しむことができることから、一人一人が生涯を通じて本に親しみ、そこから学び心豊かに健やかに過ごせることを目的としている。
- 音読をすることで、認知症の予防や自律神経の改善が図れると言われている。これらの効果を期待し一人一人が健康で元気に地域で暮らすことができるよう、絵本などを目で見、口で話し、耳で聞く音読を行っている。また参加者同士が交流をするコミュニティの場としての役割も果たしている。

取組・活動の概要

(1) あたまイキイキ音読教室 (館内)

【開始】2015年5月～

【対象】一般町民

【頻度】月1回(毎月第3木曜日)

【内容】

- 進行役の職員と参加者と一緒に絵本、詩、鳥取県の民話などを读んだり、童謡唱歌を歌ったり手遊び等を1時間程度行う。

(2) 出前音読教室

【開始】2015年8月～

【対象】町内自治会、福祉施設等の高齢者の方

【頻度】依頼がありしだい随時

【内容】

- 進行役の職員と参加者が一緒に絵本、詩、鳥取県の民話などを读んだり、童謡唱歌を歌ったり手遊びを行う。絵本の読み聞かせ等を行うこともある。時間・内容は依頼先と相談の上決定する。



音読教室

(3) 認知症予防プログラム

【開始】2019年4月～

【対象】一般町民

【頻度】依頼がありしだい随時

【内容】

- 2018年10月、鳥取大学医学部教授・浦上克哉先生の講演後、他課(生涯学習・健康推進・地域包括支援・図書館)と連携協力が始まった認知症予防プログラム。セットメニューの1つとして、図書館は自治会などに出かけ音読教室を行っている。
- これら全ての音読教室では、2016年4月から始まった「今こそ絵本を！」事業の一環として、プログラムの中に絵本を取り入れて音読を行っている。

- 町民のみなさんがいくつになっても健康で充実した生活ができるよう、既設の百歳文庫・闘病記文庫・大活字コーナーに加え、音読コーナーを設置。充実を図った。



あたまイキイキ音読コーナー



百歳文庫のコーナー

(4) 音読体験教室

【開催】2019年10月、11月

【対象】

- 音読教室に関心のある地域の方、福祉施設、高齢者施設、各自治会いきいきサロン担当者の方等。

【内容】

- 館内あたまイキイキ音読教室体験。音読教室の説明。自主開催をする際に、図書館ができる支援についての説明。行うにあたっての相談、意見交換。

取組・活動の工夫や特徴

- いつでも どこでも だれとでも音読教室ができることを目指している。
- 「音読教室」の取組が広がり、自治会からの依頼が増加傾向。
- 仲の良いグループや自治会で、自分たちがやりたいと思った時にいつでも開催することのできる環境づくりへと繋げるため、音読体験教室を開催。
- 町内放送、HP、町報、図書館だよりへの掲載。出前音読教室へ出掛ける際広報や説明を行っている。

取組・活動の成果や今後の展望

- 館内の音読教室の参加者や出前講座の依頼が増えているのは、町民の方が音読に親しみ、その良さが広がっている成果だと捉えている。
- 一方、依頼が増えることにより職員で全て対応することが難しくなると思われる。町民の方がいつでもどこでも音読教室を開ける体制を作っていくことが必要と考える。
- 町民の方が詩や歌など手軽にできることから取り組んでいただけるよう図書館もともに考え支援していきたい。